


Sorry! You have some mistakes.

ブラインドチェックの詳細レポート：

File	hobby-baseball.html
Title	自己紹介サイト
miChecker検証結果 (ラジオボタンを選択することで、表示が変更されます)	
<input type="radio"/>	手動確認
<input type="radio"/>	要判断箇所
<input checked="" type="radio"/>	All

行番号	種別	知覚可能	操作可能	理解可能	堅ろう(牢)	Compliance	WCAG 2.0	Section 508	JIS	達成方法	内容
	手動確認	0	0	0	0	0	A: 4.1.1		A: 4.1.1	G134, G192	このウェブページをバリデータまたはパーサを使用してバリデートしてください。もし可能であれば、ページを仕様に完全に準拠させることを検討してください。
15	要判断箇所	0	0	0	0	0	A: 1.3.1, AA: 2.4.6		A: 1.3.1, AA: 2.4.6	G130, H42	各見出し(h1,h2...)はページ中の対応するセクションを表す内容になっており、テキストを太字にするためだけの目的に利用されていないことを確認してください。
31	要判断箇所	0	0	0	0	0	A: 1.3.1, AA: 2.4.6		A: 1.3.1, AA: 2.4.6	G130, H42	各見出し(h1,h2...)はページ中の対応するセクションを表す内容になっており、テキストを太字にするためだけの目的に利用されていないことを確認してください。
2	要判断箇所	0	0	0	0	0	A: 3.1.1		A: 3.1.1	H57	(lang=ja)がそのウェブページで主に使われている言語を反映していることを確認して下さい
	手動確認	0	0	0	0	0		n			form内のコントロールやリンクなどに、必要に応じてタブ・オーダーを設定することを検討してください
	手動確認	0	0	0	0	0		k			もし、このページをアクセシブルにすることが不可能であれば、代替となるアクセシブルなページを提供してください

	手動確認	0	0	0	0	0	AAA: 2.4.8		AAA: 2.4.8	H59	もしこの文書が一連の文書の一部であるなら、rel・rev属性とlink要素を用いて前後関係を明らかにしてください(もしくはRDFや全体の圧縮データなどをメタデータとして提供してください)
	手動確認	0	0	0	0	0		p			もしユーザに制限時間内で何らかの反応を要求する場合、ユーザに制限時間があることを警告し、時間延長をするための十分な時間が与えられているか確認してください
9	手動確認	0	0	0	0	0	A: 1.3.2, A: 1.3.1, A: 1.4.5, AAA: 1.4.9	d	A: 1.3.2, A: 1.3.1, A: 1.4.5, AAA: 1.4.9	C6, G140	HTML文書は、スタイルシートを無効にしても読んだり利用したり出来るようにデザインしてください(スタイルシートを利用するためのlink要素が存在しています)
	手動確認	0	0	0	0	0	AAA: 3.1.4		AAA: 3.1.4	H28	文書中の略語および頭字語は、abbrを用いて本来の形式を表記してください(HTML5ではacronymは廃止されました)
	手動確認	0	0	0	0	0	AAA: 2.4.8		AAA: 2.4.8	G63	サイトマップや、サイトの目次、キーボードショートカット(accesskey)の使い方など、サイト全体のレイアウトに関する情報を提供してください
	手動確認	0	0	0	0	0	AA: 3.2.3		AA: 3.2.3	G61	サイト内で統一したナビゲーションを提供していることを確認してください
	手動確認	0	0	0	0	0	AAA: 3.1.5		AAA: 3.1.5	G153	テキストを読みやすくしてください。
	手動確認	0	0	0	0	0	AAA: 3.1.5		AAA: 3.1.5	G103	もし、ページ内容の理解を容易にするのであれば、アイコンや画像などを利用してください。ただし、必ずアクセシブルな代替テキストを提供してください
	手動確認	0	0	0	0	0	AA: 3.2.4		AA: 3.2.4	G197	情報提示のスタイルが統一されているか確認してください
	手動確認	0	0	0	0	0	AA: 3.3.4, AA: 3.3.6		AA: 3.3.4, AA: 3.3.6	G98, G99, G155, G164, G168	ユーザが操作を誤った場合でも、元の状態に戻すことが出来る手段が提供されていることを確認してください
	手動確認	0	0	0	0	0	A: 1.3.3		A: 1.3.3	G96	ページの内容を理解・操作するために必要な情報が、コンテンツの形や位置だけに依存していないか確認してください
	手動確認	0	0	0	0	0	A: 4.1.2		A: 4.1.2	G135	ウェブコンテンツ技術のアクセシビリティAPIを用いて、名前及び役割をUAに提供し、利用者が設定可能なプロパティを直

											接設定可能にし、変化を通知していることを確認して下さい
	手動確認	0	0	0	0	0	A: 4.1.2		A: 4.1.2	G10	識別名及び役割を取得し、利用者が設定可能なプロパティを直接設定可能にし、変化を通知するためにユーザーエージェントが動作する、プラットフォームのアクセシビリティAPI機能をサポートするウェブコンテンツ技術を用いて、コンポーネントを作成していることを確認して下さい
	手動確認	0	0	0	0	0	A: 4.1.1		A: 4.1.1	H75	ウェブページに含まれる、XMLベースのマークアップ言語(XHTML, SVG, SMILなど)で記述されたすべてのコンテンツに対して、それらが整形形式のXML文書であることを確認して下さい。
	手動確認	0	0	0	0	0	A: 4.1.1		A: 4.1.1	H88	可能であれば、完全に仕様に準じてHTMLを用いることを検討してください。
	手動確認	0	0	0	0	0	AA: 1.4.3		AA: 1.4.3	G18, G145, G148, G174	テキスト及び画像化された文字の視覚的な表現には、十分なコントラスト比をもたせていることをロービジョンモードを使用して確認して下さい（次の場合を除く：大きな文字、付随的、ロゴタイプ）
	手動確認	0	0	0	0	0	AA: 1.4.4		AA: 1.4.4	C28, G142, G146, G178, G179, SCR34	キャプション及び画像化された文字を除き、コンテンツ又は機能を損なうことなく、テキストを支援技術なしで 200% までサイズ変更できることを確認して下さい。
	手動確認	0	0	0	0	0	AA: 1.4.5		AA: 1.4.5	C22, C30, G140	使用しているウェブコンテンツ技術で意図した視覚的な表現が可能である場合は、画像化された文字ではなくテキストを用いて情報を伝えていることを確認して下さい。
	手動確認	0	0	0	0	0	AA: 2.4.5		AA: 2.4.5	G63, G64, G125, G126, G161, G185	ウェブページがプロセスの結果又はプロセスの中の一つのステップである場合を除き、ウェブページ一式の中からあるウェブページに到達することのできる複数の手段があることを確認して下さい。
	手動確認	0	0	0	0	0	AA: 2.4.7		AA: 2.4.7	C15, FLASH20, G149, G165, G195, SCR31	キーボード操作が可能なユーザーインタフェースには、キーボード・フォーカスの状態が視覚的に認識できる操作モードがあることを確認して下さい。
	手動確認	0	0	0	0	0	AA: 3.1.2		AA: 3.1.2	FLASH13, H58	固有名詞、技術用語、どの言語なのか不明な語句、及びすぐ前後にあるテキストの言語の一部

											になっている単語又は語句を除いて、コンテンツの一節又は語句それぞれの自然言語がどの言語であるかを、プログラムが解釈可能であることを確認して下さい。
	手動確認	0	0	0	0	0	AA: 3.2.3		AA: 3.2.3	G61	利用者が変更した場合を除き、ウェブページ式の中にある複数のウェブページ上で繰り返されているナビゲーションのメカニズムが、繰り返されるたびに相対的に同じ順序で提供されていることを確認して下さい。
	手動確認	0	0	0	0	0	AA: 3.2.4		AA: 3.2.4	G197	ウェブページ式の中で同じ機能性を有するコンポーネントは、一貫して識別できることを確認して下さい。
	手動確認	0	0	0	0	0	AA: 3.3.3		AA: 3.3.3	FLASH 12, G83, G84, G85, G177, SCR18, SCR32	入力エラーが自動的に発見された場合は、その修正方法が明らかであれば、その方法を利用者に提示していることを確認して下さい。（セキュリティ又はコンテンツの目的を損なう場合を除く。）
	手動確認	0	0	0	0	0	AA: 3.3.4		AA: 3.3.4	G98, G99, G155, G164, G168	利用者にとって法的な義務もしくは金銭的な取引が生じる、利用者が自分で制御可能なデータ・ストレージ・システム上のデータを変更もしくは削除する、又は利用者が試験の解答を送信するウェブページでは、取消、チェック、確認のいずれかを実施できることを確認してください。
	手動確認	0	0	0	0	0	A: 1.1.1		A: 1.1.1	C9, G68, G73, G74, G92, G95, G100, G143, G144, G196	利用者に提示されるすべての非テキストコンテンツに対して、状況に応じて、同等の目的を果たす代替テキストを提供していることを確認して下さい。
	手動確認	0	0	0	0	0	A: 1.3.1		A: 1.3.1	G115, G117, G138, G140, G205, H48, H49, H51, SCR21	表現を通じて伝達されている情報、構造、関係性は、プログラムが解釈可能であるか、テキストで提供されていることを確認してください。
	手動確認	0	0	0	0	0	A: 1.3.2		A: 1.3.2	C27, G57, H34, H56	コンテンツの提供順序がその意味に影響を及ぼす場合には、正確な読み上げ順序をプログラムが解釈可能であることを確認してください。
	手動確認	0	0	0	0	0	A: 1.4.1		A: 1.4.1	G183	色の違いだけで示されているリンク又はコントロールは、その文字色と周囲にあるテキストとのコントラスト比を 3:1 以上に

											し、フォーカスを受け取ったときには視覚的な手がかりを補足して強調されていることを確認してください。
	手動確認	0	0	0	0	0	A: 2.2.1		A: 2.2.1	G4, G133, G180, G198, SCR1, SCR16, SCR33, SCR36	コンテンツに制限時間が設定されている場合には、利用者が解除・調整・延長することを可能にしてください。(次の例外を除く：リアルタイム、必要不可欠、制限時間が20時間よりも長い)
	手動確認	0	0	0	0	0	A: 2.2.2		A: 2.2.2	G4, G186, G191, SCR22, SCR33	動きのある、点滅している、スクロールする、又は自動更新する情報に対しては、必要に応じてそれを利用者がそれを一時停止、停止、非表示にする（もしくは、自動更新の頻度を調整する）メカニズムが提供されていることを確認してください。
	手動確認	0	0	0	0	0	A: 2.3.1		A: 2.3.1	G15, G19, G176	ウェブページ上に閃光が存在する場合は、どの1秒間においても3回以下である、又は一般閃光閾値及び赤色閃光閾値を下回っていることを確認してください。
	手動確認	0	0	0	0	0	A: 2.4.1		A: 2.4.1	G123, H50, H69, H70, SCR28	繰り返されるブロックが存在する場合は、スキップ可能な方法でグループ化されていることを確認してください。
	手動確認	0	0	0	0	0	A: 2.4.2		A: 2.4.2	G88	ページのタイトルがページの内容を表しており、そのタイトルによってウェブページを特定できることを確認してください。
	手動確認	0	0	0	0	0	A: 2.4.3		A: 2.4.3	C27, G59, H4, SCR26, SCR27, SCR37	ナビゲーションの順序が意味又は操作に影響を及ぼす場合、フォーカス可能なコンポーネントは意味及び操作性を保持した順序でフォーカスを受け取ることを確認してください。
	手動確認	0	0	0	0	0	A: 2.4.4		A: 2.4.4	C7, G53, G91, G189, H33, H77, H78, H79, H80, H81, SCR30	リンクの目的が、リンクのテキスト、もしくはプログラムが解釈可能なリンクの文脈をリンクのテキストとあわせたものから解釈できることを確認してください。(リンクの目的が一般的にみて利用者にとって曖昧な場合を除く。)
	手動確認	0	0	0	0	0	A: 3.2.1		A: 3.2.1	G107	いずれのコンポーネントも、フォーカスを受け取ったときに状況の変化を引き起こさないことを確認してください。
	手動確認	0	0	0	0	0	A: 4.1.1		A: 4.1.1	H74, H93, H94	開始タグ及び終了タグが仕様に準じて用いられており、IDの重複や、同一属性が複数回指定さ

											れたタグが存在しないことを確認してください。
	手動確認	0	0	0	0	0	A: 2.1.1, A: 4.1.2		A: 2.1.1, A: 4.1.2	G108, H88, H91, SC R21	マークアップを用いて名前及び役割をユーザーエージェントに提供し、利用者が設定可能なプロパティを直接設定可能にし、変化を通知していることを確認してください。（例：マークアップ言語（HTMLなど）で標準的なユーザーインタフェース・コンポーネント（HTMLのフォームコントロールなど）を使用する。）
	手動確認	0	0	0	0	0	A: 1.4.1		A: 1.4.1	G14, G111, G205	情報を伝える画像の中で色を用いている場合、パターンやテキストを用いて色以外の方法でも情報を入手可能にしてください。

チェックしたHTMLは以下です

1. <!DOCTYPE html>
2. <html lang="ja">
3. <head>
4. <meta charset="UTF-8">
5. <meta name="author" content="高地将太郎">
6. <meta name="keywords" content="趣味">
7. <meta name="description" content="私の趣味である野球とダーツについて別ページで紹介しています.">
8. <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1.0">
9. <link rel="stylesheet" href=" ../css/base.css">
10. <title>自己紹介サイト</title>
11. </head>
12. <body>
13. <header>
14.
15. <h1>自己紹介サイト</h1>
16. <nav>
17.
18. ホーム
19. 略歴
20. 趣味
21. 目標
22.
23. </nav>
24. </header>
25. <div class="content">
26. <section>
27. <div class="flexbox">
28. <figure><figcaption>高校最後の夏の大会では4番を任された</figcaption></figure>
29. <figure><figcaption>高校最後の夏の大会では捕手を務めた</figcaption></figure>
30. </div>
31. <h2>私の野球人生</h2>
32. <p>野球を始めたのは小学一年生の頃である。祖母が大の阪神ファンであったことから次第に興味を持ち始め、体験でやったときに楽しくてそこから始まった。
小一の頃は、週一回学校帰りそのまま野球を習いに行った。そこは野球教室で元オリックスのコーチだった人がまとめ役であった。そこで基礎を学び、小学二年生から地元の野球チームに入った。そこでも対外試合などはなく、紅白戦のみであった。小3から対外試合のあるチームに入った。そこでは、ピッチャーとサードを主に任された。初めての対外試合はとてもきんてようしたのを覚えている。それから中学受験で2年間ボールに触れることなく、中学に入ってからまた始めた。
3年生が引退して、中学一年のなつから試合に出させてもらった。中2の夏の大会では、相手ピッチャーに手も足も出ず、敗退してしまった。中3に入ると、キャプテンを任された。また守備位置は、捕手、打順は4万で固定された。そうして迎えた最後の大会では、一回戦で、ホームランとツーベース2本を放ち、勝利に貢献した。2回線は相手投手がよく打ち崩せずに、負けてしまった。そして。引退を迎えそのまま秋から高校生の練習に混じった。中高一貫校では、練習に混じることが利点である。
初めての冬練習で体重が5kgぐらい減って、中学時代から知っている親御さ

んから心配された。そのくらい高校野球と中学野球の違いを感じた。4月に入学してからは4番サードを任された。その時に、先輩からアウトになって良い場面とダメな場면을教えてもらい、気持ちが楽になった。得点圏打率もそのアドバイスをいただいてから、5割近くになった。最後の大会では、その雰囲気にも圧倒されてかなりミスを連発してしまい、そのせいもあって1点差で負けてしまった。初めて、泣き崩れてしまった。それから、一層練習に励もうと思った。高校二年生になると、5番サードを任された。4番の先輩が出塁率が高いので、役割は変わらずランナーを返すことであった。最後の大会は、コロナで代替大会となり、プロ野球チームが使うようなグラウンドで行うことができた。打撃では貢献できたが、守備では記録に残らないミスをしてしまい、またもや悔いが残る大会となった。高3では首長を任せられ、主に4番捕手となった。チームを引っ張っていく自覚が生まれ、視野が広がった。最後の大会は一週間前に足首を捻挫してしまい、ロキソニンを飲んでの試合となった。チームメイトみんな緊張していたのか、動きが硬く、思うように試合が運べなかった。結果、5-1で負けてしまった。燃え尽きた感じとなんとも言えない悔しさで試合終了後に泣きそうになったが、チームメイトの前では泣かなかった。そして、現在、大学の硬式野球のサークルで野球を続けている。

```
33. </section>
34. </div>
35. <footer>
36. <div class="footer_nav">
37. <ul>
38. <li><a href=" ../career.html">略歴</a></li>
39. <li><a href="hobby-baseball.html">趣味(野球)</a></li>
40. <li><a href="hobby-darts.html">趣味(ダーツ)</a></li>
41. <li><a href=" ../goal.html">目標</a></li>
42. </ul>
43. </div>
44. <address>作成者: 高地将太郎 waseaka1024@akane.waseda.jp</address>
45. <p>作成日: <time>2024-08-23</time> 更新日: <time>2024-08-23</time></p>
46. <p><small>&copy; 2024 Shotaro Takachi</small></p>
47. </footer>
48. </body>
49. </html>
```

Top ↑

日本語トップ | ゲートウェイ | ロービジョン | ブラインド